

かけ算(2)の「かけ算のきまりやひみつを見つけよう」(全27時間 内16時間)

時・目標 指導形態	主な学習活動	評価規準 (評価方法)	育てる過程の学力 (学び方カードで)
<p>1時 (T・T) 1台分に2人ずつ乗っている自動車の何台分かの人数を求める場面を通して、2の段の九九を構成する。</p>	<p>1 問題場面をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1台に2人ずつ乗る車の何台分かの人数を調べよう。 </div> <p>2 1台分～5台分になると、乗っている子どもの人数は何人になるかを立式し、人数を調べる。 ・ブロックを使って人数を求める方法を考える。</p> <p>3 6台分～9台分の人数が何人になるかを立式し、人数を調べる。【知】 ・6台～9台まで調べる。 ・式と答えを確かめる。</p> <p>4 できた九九を見て気がついたことを話し合う。</p> <p>5 「九九」の用語と呼称を知る。</p>	<p>【知】2の段の答えの求め方が分かる (ワークシート) B 2を基準の大きさとしてたし算やブロックを使って答えを求めることができる。 A 2を基準の大きさとしてたし算や2とびの数を対応させて答えを求めることができる。</p>	<p><工夫する学力> ・1個ずつではなく2ずつまとめて数えている。</p> <p><考える学力> ・1台増えると答えは2ずつ増えることを見つけることができる。</p>
<p>2時 (学級内習熟度別) 2の段の九九を唱えたり、2の段の九九を使う乗法の問題を作ったりすることができる。</p>	<p>2の段の九九テストをして、コースを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2の段の九九が使える問題を作ろう。 </div> <p><みかんコース> 1 2の段の九九練習をする。【表】 ・カードを使って全員、個々、ペアで練習する。 ・ペアで順に唱えられるかチェックし合う。</p> <p>2 2×3になる絵を描く。【知】</p> <p>3 絵を見て立式し、問題を解く。</p> <p><ぶどうコース> 1 2の段の九九練習をする。【表】 ・カードを使って全員、個々、ペアで練習する。 ・ペアで順・逆に唱えられるかチェックし合う。</p> <p>2 2×3になる絵を描く。【知】</p> <p>3 絵を見て立式し、問題を解く。</p> <p>4 式に合う問題を自分で問題を作る。</p>	<p>【表】2の段の九九を正しく唱えることができる(ペアで評価) B 2の段の九九を順に正しく言える。 A 2の段の九九を順・逆に正しく言える 【知】2×3の式の意味が分かる (ワークシート) B 2×3の鉛筆の絵を書くことができる。 A 2×3になる鉛筆の絵とそれ以外の絵を書くことができる。</p>	
<p>3時 (T・T) 1皿に5個ずつのっているお菓子の何皿分かの個数を求める場面を通して、5の段の九九を構成する。</p>	<p>1 問題場面をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1皿に5個ずつのったお菓子の個数を調べよう。 </div> <p>2 1皿～5皿分のお菓子が何個になるかを立式し、数を調べる。 ・ブロックを使って、お菓子の数を求める方法を考える。</p> <p>3 6皿～9皿分のお菓子が何個になるかを立式し、数を調べる。 ・自分で調べる。 ・式と答えを確かめる。 ・答えの求め方を発表する。</p> <p>4 できた九九を見て、気がついたことを話し合う。</p> <p>5 5×10、5×11の答えを求める。【考】</p> <p>6 5の段の呼称を知る。</p>	<p>【考】2の段の答えの求め方を生かして5の段の答えの求め方を考えている。 (ワークシート) B 5を基準の大きさとしてブロックを数えたりたし算をしたり、5とびの数を対応させたりして答えを求めることができる。 A 乗数が1増えると答えが2ずつ増えることとつないで、5個ずつ増えることを類推し、そのきまりを使って答えを見つけている。</p>	<p><工夫する学力> ・皿分のお菓子の数をまとめて数え、簡単に総数を求めようとしている。</p> <p><工夫する学力> ・乗数が1増えると答えが被乗数分だけ増えることを広げて答えを見つけていることができる。</p>

<p>4時 (学級内習熟度別)</p> <p>5の段の九九を唱えたり、5の段の九九を使う乗法の問題を作ったりすることができる。</p>	<p>5の段の九九テストをして、コースを決める。</p> <p><おぼえよう> 5の段の九九が使える問題を作ろう。</p> <p>1 5の段の九九練習をする。【表】</p> <ul style="list-style-type: none"> カードを使って全員、個々、ペアで練習する。 ペアで順に唱えられるかチェックし合う。 <p>2 5×2、5×4になる絵を描く。</p> <p>3 絵に数を当てはめたり、絵を見たりして問題を作る。【考】</p> <p>4 P16の問題をする。</p> <p><ぶどうコース></p> <p>1 5の段の九九練習をする。【表】</p> <ul style="list-style-type: none"> カードを使って全員、個々、ペアで練習する。 ペアで順・逆に唱えられるかチェックし合う。 <p>2 5×2、5×4になる絵を描く。</p> <p>3 絵を見て自分で問題を作る。【考】</p> <p>4 計算練習をする。(P16, プリント)</p>	<p>【表】5の段の九九を正しく唱えることができる(ペアで評価)</p> <p>B 5の段の九九を順に正しく言える。</p> <p>A 5の段の九九を順・逆に正しく言える。</p> <p>【考】5cmや5この幾つ分を考えて問題を作ることができる(ワークシート)</p> <p>B に数を当てはめて問題を作ることができる。</p> <p>A 絵を見て自分で問題を作ることができる。</p>	
<p>5時 (T・T)</p> <p>1 そうに3人ずつ乗っているボートの何そう分かの人数を求める場面を通して、3の段の九九を構成する。</p>	<p>1 問題場面から3の段の学習であることを知る。</p> <p><おぼえよう> 1 そうに3人ずつ乗っているボートの何そう分かの人数を調べよう。</p> <p>2 式を立て、3の段の九九の答えを見つけてみる。【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ブロックを使って人数を求める。 たし算をして全体の人数を求める。 答えの求め方を話し合う。 <p>3 3×10、3×11の答えを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 答えの見つけ方を話し合う。 $\times 10$、$\times 11$の答えを求める。 <p>4 3の段の呼称を知る。</p>	<p>【知】全体の数を求める式が書け、3の段の九九の答えの求め方が分かる(ワークシート)</p> <p>B 3を基準の大きさとして全体の人数を求める式が書け、ブロックを数えたり、たし算したりして答えを求めることができる。</p> <p>A 3ずつ増えるというきまりを使って答えを求めている。</p>	<p><工夫する学力></p> <ul style="list-style-type: none"> 3の段にも乗数が1増えると答えは被乗数だけ増えるというきまりが当てはまるかどうか確かめようとする。
<p>6時 (学級内習熟度別)</p> <p>3の段の九九を唱えたり、3の段の九九を用いて問題を解決したりする。</p>	<p>3の段の九九テストをして、コースを決める。</p> <p><おぼえよう> 3の段の九九を覚えて、問題をとこう。</p> <p>1 3の段の九九練習をする。【表】</p> <ul style="list-style-type: none"> カードを使って全員、個々、ペアで練習する。 ペアで順に唱えられるかチェックし合う。 <p>2 3×2になる絵を描く。</p> <p>3 文章題に挑戦する。(p1834)【考】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題を読んで、絵を描く。 絵を手がかりに立式する。 <p><ぶどうコース></p> <p>1 3の段の九九練習をする。【表】</p> <ul style="list-style-type: none"> カードを使って全員、ペアで練習する。 ペアで順・逆に唱えられるかチェックし合う。 <p>2 3×2、3×5になる絵を描く</p> <p>3 文章題に挑戦する。(p1834 プリント)【考】</p>	<p>【表】3の段の九九を正しく唱えることができる(ペアで評価)</p> <p>B 3の段の九九を順に正しく言える。</p> <p>A 3の段の九九を順逆に正しく言える。</p> <p>【考】3の段の九九を使って問題をとくことができる(シート)</p> <p>B P184を3×6と立式し、3の段の九九を使って問題を解くことができる。</p> <p>A 文章だけの問題を立式し、3の段の九九を使って問題を解くことができる。</p>	